

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年10月11日（火）

### 2 確認箇所

地下水バイパス揚水井No.10（K）

### 3 確認項目

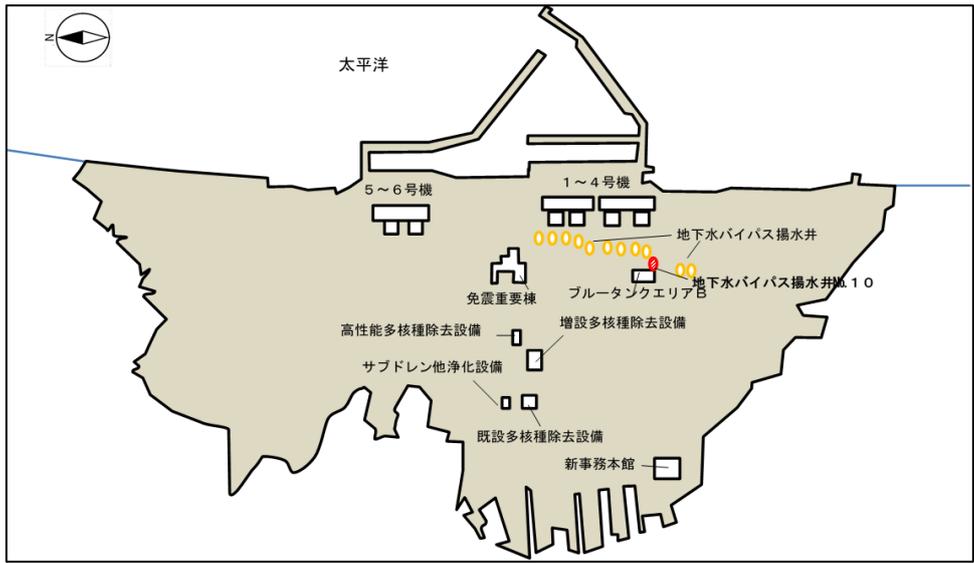
地下水バイパス揚水井No.10（K）の現況

### 4 確認結果の概要

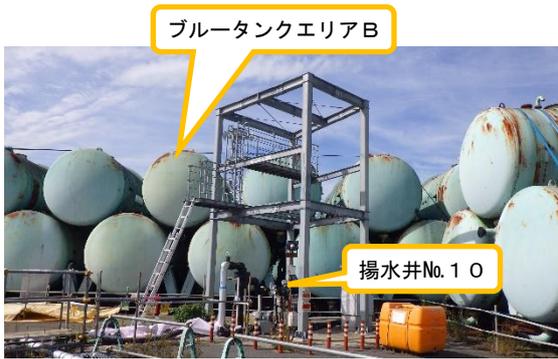
揚水井の底部に土砂が堆積し、地下水の汲み上げを停止している地下水バイパス※揚水井No.10（K）（以下「揚水井No.10」という。）の現況を確認した。（図1）（写真1）（前回確認：[平成31年2月21日](#)）

- ・現地確認時には揚水井No.10の点検や補修等の作業は行われていなかった。（写真2）
- ・東京電力によると、揚水井No.10では、揚水井外周の埋め戻し土が揚水井の損傷により揚水井内に流入し、ポンプの目詰まりを起こしていると推定され、揚水井の補修方法等を検討しているところとのことであった。
- ・揚水井No.10の北側にある中継タンクでは、配管フランジの止水対策工事が行われており、止水措置が終了した配管の保温材に板金を取り付けていた。（写真3）

※地下水バイパス：地下水が原子炉建屋等に流れ込むことで増加する汚染水の量を減らすため、山側から海側に流れている地下水を、原子炉建屋等から離れた場所（山側）に設置した井戸（12箇所）から汲み上げ、水質が運用目標値を満たしていることを確認した後に海洋へ排水することにより、原子炉建屋等に近づく地下水の量を減少させる取組みのことで、平成26年5月から排水が開始されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
揚水井No.10の概観  
(東側から撮影)



(写真2)  
揚水井No.10の状況  
(北側から撮影)



(写真3)  
板金取り付け作業の状況  
(南側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。